

令和3年8月

第23回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第23回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 2021年1～3月期(前期)の業況は「やや改善」。
～業況D.I.は3期連続で改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準には及ばず、厳しい状況が続く。
- 2021年4～6月期(今期)の業況は「やや悪化」。
～新型コロナウイルス感染症の影響により、業況D.I.は4期ぶりに悪化した。
- 2021年7～9月期の業況は「横ばい」となる見通し。

業況D.I.

○2021年1～3月期(前期)は▲32(良い<悪い)と、前々期(▲37)よりやや改善。

- 全体としては12期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年4～6月期)6番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲37)と比較すると、やや改善。
- 業種別では、前期に引き続き経済活動の再開などから、卸売・小売業(前々期▲36→前期▲9)が大幅に改善し、農水産業(前々期▲27→前期▲9)が改善、建設業(前々期▲19→前期▲11)、製造業(前々期▲43→前期▲38)はやや改善した。

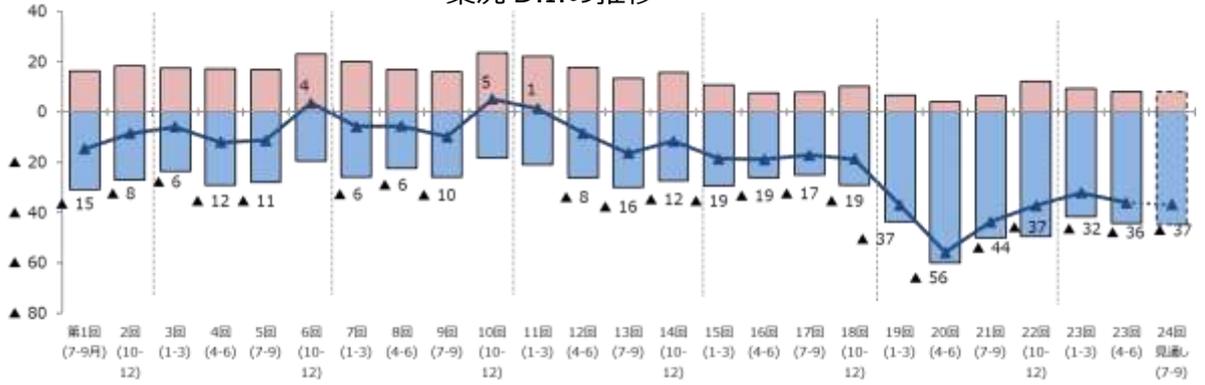
○2021年4～6月期(今期)は▲36(良い<悪い)と、前期(▲32)よりやや悪化。

- 全体としては13期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年4～6月期)5番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲56)と比較すると、大きく改善。
- 業種別では、新型コロナウイルス感染症の影響により、農水産業(前期▲9→今期▲38)、卸売・小売業(前期▲9→今期▲36)、運輸業(前期▲38→今期▲63)が大幅に悪化した。

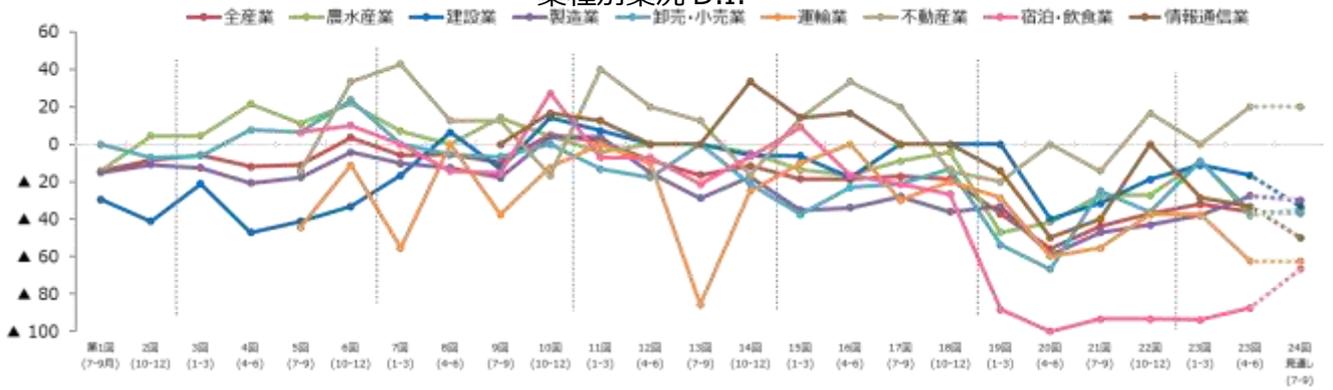
○2021年7～9月期(来期)は▲37(良い<悪い)と、横ばいとなる見通し。

- 業種別では、宿泊・飲食業(今期▲88→来期▲67)が大幅に改善し、一方、建設業(今期▲17→来期▲33)が悪化する見通し。

業況 D.I.の推移



業種別業況 D.I.



※ 上記は、業況 D.I.値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

<p>業 況 D.I.</p>	<p>○2021年1～3月期（前期）は▲32(良い<悪い)と、前々期(▲37)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全体としては12期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年4～6月期)6番目に低い水準となった。 ▶ 前年同期(▲37)と比較すると、やや改善。 ▶ 業種別では、前期に引き続き経済活動の再開などから、卸売・小売業(前々期▲36→前期▲9)が大幅に改善し、農水産業(前々期▲27→前期▲9)が改善、建設業(前々期▲19→前期▲11)、製造業(前々期▲43→前期▲38)はやや改善した。 <p>○2021年4～6月期（今期）は▲36(良い<悪い)と、前期(▲32)より<u>やや悪化</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全体としては13期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年4～6月期)5番目に低い水準となった。 ▶ 前年同期(▲56)と比較すると、大きく改善。 ▶ 業種別では、新型コロナウイルス感染症の影響により、農水産業(前期▲9→今期▲38)、卸売・小売業(前期▲9→今期▲36)、運輸業(前期▲38→今期▲63)が大幅に悪化した。 <p>○来期は▲37(良い<悪い)と、<u>横ばい</u>となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、宿泊・飲食業(今期▲88→来期▲67)が大幅に改善し、一方、建設業(今期▲17→来期▲33)が悪化する見通し。
<p>生産高 D.I.</p>	<p>○前期は▲15(増加<減少)と、前々期(▲40)より<u>改善</u>した。</p> <p>○今期は▲24(増加<減少)と、前期(▲15)より<u>やや悪化</u>した。</p>
<p>売上・完工高 D.I.</p>	<p>○前期は▲25(増加<減少)と、前々期(▲32)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、農水産業(前々期▲38→前期0)が大幅に改善し、宿泊・飲食業(前々期▲93→前期▲76)、建設業(前々期▲41→前期▲26)が改善した。 <p>○今期は▲21(増加<減少)と、前期(▲25)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、宿泊・飲食業(前期▲76→今期▲29)、不動産業(前期▲17→今期17)が大幅に改善し、情報通信業(前期17→今期29)が上昇した。 <p>○来期は▲35(増加<減少)と、前期(▲21)より<u>悪化する見通し</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、情報通信業(今期29→来期▲29)が大幅に下落、農水産業(今期▲17→来期▲42)、建設業(今期▲21→来期▲42)が大幅に悪化し、宿泊・飲食業(今期▲29→来期▲41)、製造業(今期▲20→来期▲31)が悪化する見通し。
<p>製品・商品在庫 D.I.</p>	<p>○前期の在庫の過不足感は「過剰」が6%、「適正」が75%、「不足」が20%、D.I.は▲14(過剰<不足)となり、前々期(▲6)より<u>やや悪化</u>。</p> <p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が7%、「適正」が73%、「不足」が20%、D.I.は▲13(過剰<不足)となり、前期(▲14)と<u>横ばい</u>。</p>

製(商)品販売単価 D.I.	<p>○前期は▲5(上昇<下落)と、前々期(▲2)よりやや悪化。</p> <p>➢業種別では、不動産業(前々期 40→前期 20)が大幅に下落し、運輸業(前々期 0→前期▲17)建設業(前々期 14→前期 0)が下落した。</p> <p>○今期は▲5(上昇<下落)と、前期(▲5)と横ばい。</p> <p>➢業種別では、運輸業(前期▲17→今期▲50)が大幅に悪化し、農水産業(前期▲4→今期▲18)が悪化した一方、製造業(前期▲13→今期 2)が改善した。</p> <p>○来期は▲8(上昇<下落)と、今期(▲5)からやや悪化する見通し。</p> <p>➢業種別では、情報通信業(今期 0→来期▲14)、建設業(今期 0→来期▲13)が下落した。</p>
原材料仕入単価 D.I.	<p>○前期は 33(上昇>下落)と、前々期(24)よりやや上昇。</p> <p>➢業種別では、情報通信業(前々期 14→前期 40)、卸売・小売業(前々期 10→前期 30)、宿泊・飲食業(前々期 15→前期 36)が大幅に上昇し、製造業(前々期 13→前期 29)が上昇した。</p> <p>○今期は 51(上昇>下落)と、前期(33)より上昇。</p> <p>➢業種別では、運輸業(前期 60→今期 100)、情報通信業(前期 40→今期 80)、農水産業(前期 38→今期 65)、建設業(前期 28→今期 53)、不動産業(前期 20→今期 40)が大幅に上昇し、製造業(前期 29→今期 45)が上昇した。</p> <p>○来期は 52(上昇>下落)と、今期(51)と横ばい。</p> <p>➢業種別では、不動産業(今期 40→来期 60)が大幅に上昇する一方で、情報通信業(今期 80→来期 60)が大幅に下落する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○前期は▲19(楽<苦しい)と、前々期(▲17)と横ばい。</p> <p>➢業種別では、情報通信業(前々期 25→前期▲14)が大幅に下落し、運輸業(前々期▲17→前期▲43)が大幅に悪化した一方で、農水産業(前々期▲13→前期 4)が改善した。</p> <p>○今期は▲20(楽<苦しい)と、前期(▲19)と横ばい。</p> <p>➢業種別では、不動産業(前期 33→今期 17)が上昇した一方で、農水産業(前期 4→今期▲13)が下落、建設業(前期▲16→今期▲26)が悪化した。</p> <p>○来期は▲24(楽<苦しい)と、やや悪化する見通し。</p> <p>➢業種別では、不動産業(今期 33→来期 17)が下落、運輸業(今期▲43→来期▲57)が悪化する見通し。</p>

概 況

<p>雇 用 人 員 D . I .</p>	<p>○前期は▲39(過剰<不足)と、前々期(▲34)よりやや悪化。 ▶業種別では、情報通信業(前々期▲38→前期▲57)が大幅に悪化、製造業(前々期▲28→前期▲39)、宿泊・飲食業(前々期▲13→前期▲24)が悪化した。</p> <p>○今期は▲37(過剰<不足)と、前期(▲39)と横ばい。 ▶業種別では、情報通信業(前期▲57→今期▲29)が大幅に改善、宿泊・飲食業(前期▲24→今期▲12)が改善した一方で、建設業(前期▲68→今期▲79)が悪化した。 ▶鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2021年5月の有効求人倍率は1.21倍となっている。5月の有効求人数(パート含む)は3,611人、有効求職者数(パート含む)は2,978人となっている。</p> <p>○来期は▲44(過剰<不足)と、今期(▲37)よりやや悪化する見通し。 ▶業種別では、宿泊・飲食業(今期▲12→来期▲29)、情報通信業(今期▲29→来期▲43)、製造業(今期▲39→来期▲52) 運輸業(今期▲38→来期▲50)が悪化する見通し。</p>
<p>損 益 D . I .</p>	<p>○前期は▲26(好転<悪化)と、前々期(▲35)よりやや改善。 ▶業種別では、卸売・小売業(前々期▲18→前期▲18)、建設業(前々期▲35→前期▲11)、農水産業(前々期▲33→前期▲13)が大幅に改善した。</p> <p>○今期は▲28(好転<悪化)と、前期(▲26)と横ばい。 ▶業種別では、不動産業(前期▲33→今期0)、情報通信業(前期▲14→今期14)、宿泊・飲食業(前期▲88→今期▲65)が大幅に改善した一方、農水産業(前期▲13→今期▲41)、運輸業(前期▲50→今期▲75)が大幅に悪化、卸売・小売業(前期18→今期▲9)は大幅に下落した。</p> <p>○来期は▲26(好転<悪化)と、今期(▲28)と横ばいとなる見通し。 ▶業種別では情報通信業(今期14→来期▲29)が大幅に下落した一方、宿泊・飲食業(今期▲65→来期▲38)が大幅に改善した。</p>

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 178 先

〔 農水産業 34 先、建設業 22 先、製造業 56 先、卸売・小売業 20 先
不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先 〕

回答数：143 件 回答率：80.3%

2 調査時期： 2021 年 7 月

3 対象期間： 2021 年 1～3 月期実績(前期)、
2021 年 4～6 月期実績(今期)、
2021 年 7～9 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@city.kanoya.lg.jp

第23回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

※ 四捨五入の関係上、D.I.値(A-C)は一致しない場合がある。

(単位：%)

項目	2020年10~12月				2021年1~3月					2021年4~6月				2021年7~9月			
	前々期				前期					今期				来期見通し			
	状況	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	前回 調査時 前期	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)
自社の業況(景況感)	12	38	50	▲37	9	49	42	▲32	▲43	8	48	44	▲36	8	47	45	▲37
農水産業	18	36	45	▲27	14	64	23	▲9	▲27	0	62	38	▲38	4	57	39	▲35
建設業	0	81	19	▲19	11	67	22	▲11	▲25	11	61	28	▲17	0	67	33	▲33
製造業	10	37	53	▲43	8	46	46	▲38	▲46	10	53	37	▲27	14	42	44	▲30
卸売・小売業	9	45	45	▲36	18	55	27	▲9	▲64	9	45	45	▲36	9	45	45	▲36
運輸業	13	38	50	▲38	13	38	50	▲38	▲38	0	38	63	▲63	0	38	63	▲63
不動産業	50	17	33	▲17	0	100	0	▲20	▲20	40	40	20	▲20	40	40	20	▲20
宿泊・飲食業	0	7	93	▲93	0	6	94	▲94	▲93	0	13	88	▲88	0	33	67	▲67
情報通信業	38	25	38	▲13	14	43	43	▲29	0	17	33	50	▲33	0	50	50	▲50
生産高(製造業)	18	38	44	▲26	21	44	35	▲15	▲29	18	40	42	▲24	14	47	39	▲24
売上・完工高	16	36	48	▲32	18	39	43	▲25	▲41	21	37	42	▲21	10	45	45	▲35
農水産業	13	38	50	▲38	26	48	26	▲9	▲35	22	39	39	▲17	4	50	46	▲42
建設業	0	59	41	▲18	11	53	37	▲26	▲41	16	47	37	▲21	0	58	42	▲42
製造業	20	33	47	▲27	19	40	42	▲23	▲37	22	36	42	▲20	16	37	47	▲31
卸売・小売業	18	45	36	▲18	27	36	36	▲9	▲55	18	27	55	▲36	18	45	36	▲18
運輸業	25	25	50	▲25	13	25	63	▲50	▲43	0	38	63	▲63	0	29	71	▲71
不動産業	50	17	33	▲17	17	50	33	▲17	▲20	33	50	17	▲17	20	60	20	0
宿泊・飲食業	0	7	93	▲93	6	12	82	▲76	▲92	24	24	53	▲29	12	35	53	▲41
情報通信業	25	63	13	▲13	33	50	17	▲17	13	43	43	14	▲29	0	71	29	▲29
製品・商品在庫(適正水準比)	多い	妥当	少ない	▲6	多い	妥当	少ない	▲14		多い	妥当	少ない	▲13				
農水産業	17	74	9	▲9	0	87	13	▲13	▲13	0	86	14	▲14				
建設業	0	79	21	▲21	0	80	20	▲20	▲20	0	67	33	▲33				
製造業	13	67	21	▲8	8	71	20	▲12	▲12	8	76	16	▲8				
卸売・小売業	18	73	9	▲9	9	82	9	▲9	0	18	73	9	▲9				
運輸業	0	100	0	0	0	60	40	▲40	▲40	0	60	40	▲40				
不動産業	40	40	20	▲20	20	80	0	▲20	▲20	20	60	20	▲20				
宿泊・飲食業	7	64	29	▲21	0	60	40	▲40	▲40	0	60	40	▲40				
情報通信業	0	86	14	▲14	25	75	0	▲25	0	50	50	0	▲50				
製(商)品販売単価	上昇	横ばい	低下	▲2	上昇	横ばい	低下	▲5	▲6	11	74	15	▲5	9	73	17	▲8
農水産業	13	61	26	▲13	13	70	17	▲4	▲32	9	64	27	▲18	0	78	22	▲22
建設業	21	71	7	▲14	12	76	12	▲12	0	21	18	65	▲18	0	13	63	▲25
製造業	0	92	8	▲8	2	83	15	▲13	▲6	10	82	8	▲8	2	9	79	▲13
卸売・小売業	20	70	10	▲10	18	82	0	▲18	0	18	73	9	▲9	10	80	10	▲10
運輸業	14	71	14	▲14	0	17	50	▲33	▲17	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50
不動産業	40	60	0	▲40	20	80	0	▲20	▲25	20	80	0	▲20	60	40	0	▲60
宿泊・飲食業	7	79	14	▲7	7	71	21	▲14	▲14	7	71	21	▲14	14	71	14	▲14
情報通信業	0	100	0	0	0	100	0	0	0	0	100	0	0	0	86	14	▲14
原材料仕入単価	上昇	横ばい	低下	▲4	上昇	横ばい	低下	▲3	▲33	29	53	44	▲2	51	54	43	▲2
農水産業	43	57	0	▲43	42	54	4	▲4	▲38	64	65	35	0	▲65	67	33	0
建設業	38	63	0	▲38	28	72	0	▲28	▲56	53	47	0	▲53	59	35	6	▲53
製造業	15	83	2	▲13	31	67	2	▲29	▲15	47	51	2	▲45	51	49	0	▲51
卸売・小売業	20	70	10	▲10	30	70	0	▲30	0	30	60	10	▲20	20	70	10	▲10
運輸業	75	25	0	▲75	60	40	0	▲60	▲50	100	0	0	▲100	100	0	0	▲100
不動産業	25	75	0	▲25	20	80	0	▲20	0	40	60	0	▲40	60	40	0	▲60
宿泊・飲食業	38	38	23	▲15	50	36	14	▲14	▲15	50	43	7	▲43	43	50	7	▲36
情報通信業	14	86	0	▲14	40	60	0	▲40	▲14	80	20	0	▲80	60	40	0	▲60
資金繰り	楽	普通	苦しい	▲17	楽	普通	苦しい	▲23	▲22	6	69	26	▲20	5	65	29	▲24
農水産業	8	71	21	▲21	8	88	4	▲4	▲13	9	70	22	▲22	8	67	25	▲25
建設業	6	65	29	▲29	0	84	16	▲16	▲38	0	74	26	▲26	0	74	26	▲26
製造業	4	71	25	▲25	0	73	27	▲27	▲24	2	76	22	▲22	2	71	27	▲25
卸売・小売業	18	73	9	▲9	18	82	0	▲18	0	18	82	0	▲18	9	91	0	▲9
運輸業	0	83	17	▲17	0	57	43	▲43	▲33	0	57	43	▲43	0	43	57	▲57
不動産業	33	67	0	▲33	17	83	0	▲17	▲40	33	67	0	▲33	17	83	0	▲17
宿泊・飲食業	0	33	67	▲67	0	41	59	▲59	▲60	0	41	59	▲59	0	41	59	▲59
情報通信業	25	75	0	▲25	14	57	29	▲29	▲14	0	14	57	▲57	29	29	43	▲43
雇用人員	過剰	適正	不足	▲34	過剰	適正	不足	▲45	▲35	8	47	45	▲37	4	48	48	▲44
農水産業	0	70	30	▲30	8	63	29	▲21	▲39	9	61	30	▲29	8	63	29	▲29
建設業	6	24	71	▲71	0	32	68	▲68	▲71	0	21	79	▲79	0	26	74	▲74
製造業	10	52	38	▲38	8	45	47	▲39	▲20	8	45	47	▲39	4	40	56	▲52
卸売・小売業	0	64	36	▲36	0	55	45	▲45	▲36	0	64	36	▲36	0	64	36	▲36
運輸業	0	63	38	▲38	0	63	38	▲38	▲38	13	38	50	▲38	0	50	50	▲50
不動産業	0	50	50	▲50	0	67	33	▲33	▲40	0	67	33	▲33	0	83	17	▲17
宿泊・飲食業	27	33	40	▲13	18	41	41	▲24	▲20	18	53	29	▲29	12	47	41	▲29
情報通信業	0	63	38	▲38	0	43	57	▲57	▲50	14	43	43	▲29	0	57	43	▲43
損益	好転	横ばい	悪化	▲35	好転	横ばい	悪化	▲42	▲44	13	46	41	▲28	9	57	35	▲26
農水産業	8	50	42	▲42	17	52	30	▲33	▲38	9	41	50	▲41	9	52	39	▲30
建設業	0	65	35	▲35	11	68	21	▲37	▲29	5	63	32	▲31	5	68	26	▲21
製造業	12	45	43	▲43	16	43	41	▲24	▲44	16	51	33	▲18	10	60	30	▲30
卸売・小売業	18	45	36	▲18	36	45	18	▲18	▲45	18	55	27	▲27	20	70	10	▲10
運輸業	13	38	50	▲38	13	25	63	▲50	▲50	0	25	75	▲75	0	13	88	▲88
不動産業	33	33	33	0	17	33	50	▲33	▲33	17	67	17	▲50	0	83	17	▲17
宿泊・飲食業	0	7	93	▲93	0	12	88	▲88	▲93	6	24	71	▲65	6	50	44	▲38
情報通信業	25	50	25	▲25	29	29	43	▲14	0	43	29	29	▲14	14	43	43	▲29